

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.56

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その56 [2013年11月24日]

落葉の街喧騒の朝に明け

12月24日午前9時27分、時刻表通りはやて103号は仙台駅に到着する。石巻行きのバスに乗り継ぐため屋外デッキに出ると、異様な人の波がうごめいている。仙台駅周辺が喧騒の中にあり、なにかしら浮き立つようなムードが街全体を覆っている。すっかり色づいている街路樹も、落葉を急いでいるように感じられる。ところが、石巻行き高速バス乗り場は閑散としており、乗客の列がいつになく少ない。宮交バスの整理員から、「見ていかんですか、パレードを」と声がかかる。そう、この日は楽天イーグルスの優勝パレードが行われるのだ。会場はすぐそば、1時間後にはスタートだという。そんな時間に仙台を出るバスに乗るのは、野球に興味のない者か、のんびきならぬ所用のある者ぐらいであろう。我々はそのいずれでもなく、月に2回の石巻行きがルーティンなのだが。

この日は56回目の出前寺子屋スクーリングである。初回の2011年8月16日から2年と3ヶ月、随分と回数を重ねたものだ。このうち主戦力たる和枝さんは、54回の参加を記録しており、当活動は今や彼女のライフワークである。前述の優勝パレードのせいか、今日は東北大生のヘルプは皆無。仙台人にとって生涯一度?の慶事とあっては致し方あるまい。その結果、小生、和枝さんそして佐久間さんのロートル、否、ベテラン3名での活動となった。

10月の英検で3級合格を果たした中3の女子2名は、この日から高校受験のための特別講座の開始である。手始めに数学の二次関数を指導することにした。彼女たちの数学の学力は未知数だが、英検と漢検の取り組みの状況から、その力量はうかがい知ることができる。まずは式の完成、変域、変化の割合から入ってみる。やはりこの単元は問題なく解けることが確認できた。次に図形との融合問題に移ると、ここではたと鉛筆が止まる。予想通りの結果である。そこで今日はこの単元にしばって授業を進めることにした。わずか60分の授業、それもせいぜい月に2回だが、県立後期受験の3月まで彼女たち受験生に寄り添いたいと思う。

報告：谷村志厚

祖母の向学心パワーで孫の英語学習が進む

午前11時10分、仙台駅前を出発した高速バスが、石巻イオン・モールに到着する。塾長と私(谷村和枝)はこのバス停で下車する。ここで下車した理由は、停留所近くに大規模復興住宅団地が造成中で、以前から気になっていたからである。蛇田と呼ばれるこの地区は、三陸自動車道が防波堤の役割を果たし、津波の被害を受けずにすんだ所である。イオン・モールを中心とするこの商業地区は被害の少なかったことが幸いして、復興も早く、近い将来被災者3,700人が暮らす大団地となる予定である。敷地を大きく取り囲む半透明のフェンスに完成予想図が描かれてはいるが、静かに平坦な土地が広がる現在の風景からそれを想像することは難しい。しかし、2011年から震災復興支援に関わっている私は出来上がった街を是非見届けたい、そんな思いを新たにタクシーで開成仮設団地へと向かった。



復興住宅団地造成地の看板前で

塾長と私の2人で、会場設営をし、午後1時30分に最初の講座が始まった。塾長が指導する中学3年生の受験数学がその内容である。その直後より参加者が次々と来場し、各自のネームプレートを手に着席を始めた。満席となった午後2時35分に全体集会が開かれた。集会では、前日に松戸の自塾へ郵送されてきた2013年度第2回の英語検定合格証と成績票が、合格者に授与された。英検3級が4人、準2級が1人、満点合格、1ミス、2ミスの合格という素晴らしい成績であった。合格者の1人は、「祖母の向学心パワー」を発揮したCさんで、本日英検3級合格の賞状を手にする



満席となったこの日の寺子屋の風景

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日
 第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日
 第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日
 第Ⅳ期 2012年11月24日～2013年2月23日
 第Ⅴ期 2013年3月10日～6月8日
 第Ⅵ期 2013年6月16日～11月9日

①スクーリングの実績と予定(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日、24日、4月7日、21日、5月12日、6月1日、16日、7月7日、21日、8月12日、9月1日、15日、10月12日、10月27日、11月9日、24日、12月8日

②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受検(第Ⅶ期)

平成25年度第3回英検 2014年1月25日

平成25年度第3回漢検 2014年2月8日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

と自らは漢検準1級の学習を開始し、隣の席に座って英検4級の学習をしている孫に対しては程良い英語のアドバイスと手助けをしていったのである。中学2年生の孫から寄せられた質問に祖母が答え、ニコリ笑って互いに見つめあい、その先の勉強に進んでいった。石巻市十三浜にあった2人の自宅は7メートルの津波を受けて全壊し、現在は家族皆で1つの仮設住宅に同居している。2人の静かな笑顔には東北人の粘り強さが秘められていた。



英検3級の合格証書を受けるCさん、おばあちゃんパワー発揮で孫をリード

全体集会時に全員でフラワー・アレンジメントをして、午後3時に後半の学習が始まった。英検3級講座(谷村和枝指導)と漢検学習である。午後4時10分、全員で会場の後片付けをして、第56回の出前寺子屋は終了した。出席者は英検学習が13人、漢検学習が23人(重複参加有り)であった。次回の寺子屋は東北の寒さも本格的になるであろう12月8日に開催される。報告：谷村和枝

漢字検定実績・74名受検中合格者59名

2級-13名、準2級-14名、3級-14名、4級-6名、5級-7名、6級-3名、7級-2名 (小中高生21名、一般38名)

英語検定実績・25名受検中合格者23名

準2級-2名、3級-7名、4級-9名、5級-4名 (小中高生18名、一般5名)

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管: AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
 後援: 全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
 支援: 日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)